

## 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校改善

### 取組 (5) 家庭・地域等との連携

3校の取組として、長期欠席児童生徒が、Chromebookを活用し、遠隔であっても、友達と共に意見を出し合い、友達の考えに耳を傾けることで、「授業を通して身に付けさせたい学びの力」の育成と「所属感を高める取組」の充実を図った。

北見市として、3校の実践をモデルとし、学級閉鎖時や不登校児童生徒に対し、ICTを活用した『学びの保障』を継続的に行うよう指導を行っている。また、学級閉鎖時や長期欠席となった場合やICTを活用した授業と家庭学習の繋がりを保護者へ理解してもらうことをねらいとし、北見市学力向上推進委員会が主催となり、「保護者向けChromebook体験会」を実施した。多くの保護者が参加し、ICTを通じた授業の在り方について理解を深めることができた。

### 成果

3校でオンライン授業が日常的に行われていること、中学校区で「学びの保障」を目指す取組を行うことで、家庭・地域へ安心感を与えている。



【保護者向けChromebook体験会の様子】

# 質の高い教育活動を持続的に行う働き方改革の実施

## 取組

### (3) 業務の効率化に向けた取組の充実

3校の取組として、グランドデザインで「働き方改革『手引Road』の活用」を位置付け、学校の実態に応じた取組を行っている。また、校長のリーダーシップの下、コアチームを立ち上げることにより、教職員一人一人が自分事として働き方を見つめ直すきっかけをつくったり、日常の職員会議において、今までの取組を振り返る場面を設定したりする中で、業務の効率化を図っている。

北見市としては、Googleフォームを使用した学校評価や日常の健康観察、授業支援アプリ「ロイロノート」の効果的に活用する研修会の開催や留守番電話の設置などの環境整備を行っている。

## 成果

- ・ ICT研修会を年10回開催し、基本的な操作方法から授業における効果的な活用について、教職員のパソコンスキルやニーズに応じて様々な段階を想定しながら研修会を実施し、教職員のICTを活用した意欲を高めることができた。



【ICT研修会の様子】